

石井市長が地域に出向きます

市政報告・広聴会を開催

市長が地域に出向き、皆さんと意見交換をする市政報告・広聴会を開催します。今年度のテーマは「財政構造改善と地域との取組について」です。子供連れでの参加も可能です。



◀ 昨年度の市政報告・広聴会

申込

5月7日午前10時から
市のホームページまたは電話で市民相談課へ



日程		時間	会場（※）	定員（先着順）
①	5月17日(土)	午前10時～11時半	鳴尾中央センター	各50人
②		午後1時～2時半	大学交流センター	
③	5月25日(日)	午前10時～11時半	塩瀬公民館	
④		午後1時半～3時	山口公民館	
⑤	5月28日(水)	午前10時～11時半	市役所第二庁舎	会場：50人 オンライン：100人

（※）参加は、空きがある場合に限り、当日会場でも受け付けます

⑤はオンライン（Zoom）でも配信。オンラインの申込は5月21日午後5時半まで

問 市民相談課（0798・35・3100） HP 45330019

財政構造改善の取組を進めています

市は、財政基金（貯金）の取り崩しに依存しない財政体質の確立に向け、2月に「財政構造改善実施計画」を策定し、取組を進めています。

計画期間 令和10（2028）年度まで

目標

- ・単年度で40億円以上の収支改善
- ・令和11（2029）年度からの実質単年度収支均衡

取組内容

歳入増の取組として、未利用になっている市有地の有効活用を図るなど、財源の確保に努めます。歳出減の取組としては、人件費をはじめとする内部事務経費の削減に取り組むほか、国・県の基準や近隣市・中核市の水準を上回っている施策については、必要な見直しを行います

効果

改善効果額：約38億円 財政基金残高：約95億円

※いずれも令和11年度の見込み

問 財政構造改善推進課（0798・35・3328） HP 20215657

令和7年度

带状疱疹ワクチン接種



市は、4月から带状疱疹（ほう）疹の①定期予防接種と②任意接種に対する接種費用助成事業を実施しています。①と②で対象者、費用、接種場所、必要な手続きが異なりますのでご注意ください。詳しくは市のホームページでご確認ください。

対象

ワクチン

- ▷生ワクチン（製品名：ビケン、接種回数1回）
- ▷組換えワクチン（製品名：シングリックス、接種回数2回）

①定期予防接種

※対象者には、6月下旬に接種券を送付

対象者	▷令和7年（2025年）4月2日～8年（2026年）4月1日に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人 ※7年度に限り101歳以上の人も対象 ▷60歳～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害（身体障害者手帳1級）を持つ人
自己負担金	生ワクチン：4000円▷組換えワクチン：1回当たり1万1000円 ※生活保護または中国残留邦人等支援給付の受給者は免除
接種場所	市内委託医療機関（要事前予約） ※市外での接種など詳しくは市のホームページ（HP）75947699）で確認を



②任意接種費用助成事業

※接種券の送付はありません

対象者	本事業の助成を受けたことがなく、市内に住民登録があり、次の全てに該当する人 ▷昭和40年（1965年）4月2日～51年（1976年）4月1日生まれ ▷接種時点で50歳以上
助成額・回数	4000円（生ワクチン・組換えワクチンのいずれか1回限り） ※2回接種のワクチンも助成は1回分のみ
接種場所	医療機関の指定はありません。市外の医療機関も可
申請方法	接種時に医療機関から予診票のコピーと領収書を受け取った上で、来年3月31日（必着）までに「にしのみやスマート申請」か郵送 ※詳しくは市のホームページ（HP）58892617）で確認を



問 保健予防課（0798・35・3308）

正しい知識と予防方法を身に付けましょう

海外渡航時の感染症に注意

日本国内ではほとんど発生していない感染症やあまり知られていない感染症でも、海外では感染する可能性が高いものがあります。

海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。



海外渡航前に流行状況をチェック

厚生労働省検疫所のホームページなどで、渡航先の感染症の発生状況について事前に情報を入手



最も感染の可能性が高いのは、食べ物や水を介した消化器系の感染症

加熱調理が不十分な食べ物や生水は避ける



これまでに受けた予防接種の確認を

海外に渡航する前に、これまでに受けた予防接種を確認する。予防接種の種類によっては、数回接種する必要あり。余裕をもって医師に相談を



帰国時・帰国後に体調が悪くになったら

帰国時に発熱等、健康に不安のある人は、空港や港の検疫所に相談を
帰国後に症状が出た場合は、受診前に医療機関に電話し、海外渡航歴と症状を伝え、医療機関の指示に従って受診を



厚生労働省
検疫所HP



最近では、海外渡航者増加に伴い、帰国時に麻しん（はしか）が国内へ持ち込まれるケースが多く見られます。麻しんは特に感染力が強く、予防には予防接種が有効です

問 保健予防課（0798・26・3675） HP 32653220

市制100周年記念企画

∟ NISHINOMIYA ∟



みやたと学ぶ



西宮神社の奉祝祭

100年前の大正14年4月1日。西宮は全国で101番目、県内では5番目に市制を施行しました。当日は朝から西宮神社の境内で奉告祭や祝賀式が行われ、市民千余名が参列し祝杯をあげました。市中では屋台、だんじりが繰り出し、提灯（ちょうちん）行列や旗行列が行われました。夜は市庁舎や各家々も満艦飾で飾られ、一日中煮えくり返るような騒ぎだったそうです。

100周年にあたる今年も、西宮神社で奉祝行事が行われました。今後も市内各所で「西宮市100周年記念」を冠したイベントが多数予定されています。

イベントは100周年ホームページでチェックするみにゃ～



100年前の祝賀祭の様子。多くの人が拝殿前に集まり祝いました



4月1日の奉祝祭後の様子。奉祝行事は2週間にわたり実施されました